

世界に誇れる極上の会津米づくり

「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米 100%」

両沼地方米づくり情報第3号 平成27年6月24日

発行：JA会津みどり営農部・各総合支店、会津坂下農業普及所・金山普及所

1 今後の気象予報について

(1) 6月13日～7月12日の1ヶ月予報 (仙台管区気象台 6月11日発表)

- ・気温は平年並み、降水量は平年並みか少ない見込みです。
- ・6月27日以降は梅雨前線等の影響により、曇雨天が多くなる見込みです。

(2) エルニーニョ監視速報 No. 273 (気象庁 6月10日発表)

- ・エルニーニョ現象が続いており、強まりつつあります。
- ・今後、冬にかけてエルニーニョ現象が続く可能性が高いです。

⇒北海道、東北、北陸で8月は雨の多く、北日本や東日本では冷夏も懸念されます。

⇒会津地方の米づくりでは、穂いもちの多発が心配されます。

いもち病による収量と品質の低下対策が重要です。

平成5年の冷夏を思い出してください。北東の風（ヤマセ）が吹き、低温・長雨

平成5年8月6日 若松 最高気温 20.4℃ 最低気温 18.4℃ 雨 (降水量 5 mm)

相馬 最高気温 18.5℃ 最低気温 17.3℃ 雨 (降水量 30 mm)

⇒オホーツク海に 1,020hPa の高気圧が張り出し、北日本を主に冷風を送り込みました。

2 イネの生育

今年の田植後の天候は、高温多照となり、5月1日～6月15日までの降水量は 82.5 mm (若松アメダス) と平年 (112.7 mm) の 73% と少ないです。

イネの生育は、葉齢で平年より 0.6 枚 (3~4 日程度) 進んでいます。分けつは、土壤還元の影響を受けているほ場でやや遅れています。〔表1〕

〔表1〕 水稻の生育状況 (平成27年6月23日 会津地域研究所実施)

品種 移植日	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	最終葉数
コシヒカリ	本年	44.1	754	9.7	
	前年	44.5	750	9.7	
	平年	43.1	631	9.1	13.0
5/20 移植	平年比	102%	119%	+0.6	
ひとめぼれ	本年	41.4	773	9.6	
	前年	43.4	788	9.5	
	平年	41.6	706	9.1	12.6
5/20 移植	平年比	100%	109%	+0.5	

3 今後の栽培管理

(1) 水管理

分けつ (茎数) の状況を確認し、有効茎数が確保できたら適切な水管理 (中干し・深水) を行ってください。〔表2〕

用水量が少ない地域では、落水（中干し）後に用水の確保が難しくなる場合があるので、落水（中干し）は慎重に判断してください。

〔表2〕 茎数 450 本/m²（コシヒカリの目安）となるときの1株当たりの茎数

株間	18 cm	20 cm	22 cm	24 cm
m ² 当たりの株数	18.5 株	16.7 株	15.2 株	13.9 株
1 株当たりの茎数	24 本	27 本	30 本	32 本

（2）斑点米カメムシ類

斑点米カメムシ類は6月～7月は、畦畔や休耕田等の雑草で生育します。斑点米カメムシ類はイネ科雑草や水田内のホタルイを好んで繁殖しますので、これらの雑草を中心に除草してください。〔表3〕

草刈り強化期間：7月10日～20日

この期間に地域ぐるみで除草を徹底してカメムシの居場所をなくしましょう!!

〔表3〕 ホタルイに効果のある主な中期除草剤

除草剤名	使用量	使用時期	使用方法
バサグラン粒剤	3～4kg/10a	移植後 15～50 日 (収穫 60 日前まで)	落水散布または ごく浅くして散布

（3）イネいもち病（葉いもち）

- ①感染源となる補植用置苗は、早急に処分しましょう。
- ②ほ場内に葉いもちの発生を確認した場合、速やかに散布剤（液剤・粉剤）で防除してください。〔表4〕
- ③田植時に箱処理剤を処理していないほ場、直播栽培ほ場などでは、葉いもち対策として水面施用剤で防除してください。〔表4〕



葉いもちの病斑

〔表4〕 葉いもちに効果のある主な薬剤

区分	薬剤名	使用時期〔葉いもち〕	使用量	使用方法
散布剤	ブラシン粉剤 DL	収穫 7 日前まで	3～4kg/10a	散布
	ビーム粉剤 DL	収穫 7 日前まで	3～4kg/10a	散布
水面施用剤	フジワン粒剤	初発 10～7 日前	3～5kg/10a	湛水散布
	オリゼメート粒剤	初発 10 日前～初発時	3～4kg/10a	湛水散布
	コラトップ粒剤 5	初発 10 日前～初発時	3～4kg/10a	湛水散布

※水面施用剤を使用する場合は、散布後4日間は湛水状態にしてください。

『農地中間管理事業（農地集積バンク）を利用して、農地の貸し借りをしませんか？』
農地を貸したい、借りたいという方は各市町村農政担当課・農業委員会、または福島県農業振興公社（農地中間管理機構 TEL：024-521-9845）へご相談ください。